

2020  
8月

# 月次 39レター

毎月発行するお客さまへのお知らせレターです

第192号-①【基準日 2020年7月31日】



## 🌸 社長メッセージ



### 新型コロナウイルス感染再拡大



ありがとう投信株式会社  
代表取締役社長 長谷 俊介

皆さま、いつもありがとう投信をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。ようやく長い梅雨が明けて8月に入り蒸し暑い日が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか？

先月は令和2年7月豪雨災害により各地で甚大な被害が発生いたしました。災害により被災されました皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、早期の復旧をお祈り申し上げます。

また、国内の新型コロナウイルス新規感染者数は7月に入って東京都を中心に増加し、後半には全国に広がりを見せ始めました。過去最多の新規感染者数を更新する都道府県も少なくなく、4月の緊急事態宣言下よりも全国の新規感染者数が多い状況となり、6月末には1万人台だった国内感染者数はわずか1ヶ月で4万人を突破して予断を許さない状況が続いております。第2波なのか、第1波が収束せずにより返したのか、言葉の定義はさておき、予想よりも早い感染再拡大に政府も各地方自治体も対応が間に合わず、対策も後手に回っており、経済活動再開との両立はよりいっそう難しくなっています。

一方、世界の感染者数は1800万人を超え、死者数は68万人を突破しており、新型コロナウイルスの感染拡大は止まらず、収束の気配は見えない中で、世界各国ではワクチンや治療薬の開発競争に鎬を削っています。既に英国や米国では、治験の進んでいる有望なワクチンも開発されてきていますが、開発が完了して世界中に普及し、一般の人が簡単にワクチン接種できるようになるまでには、まだまだ相当な時間がかかりそうです。



本来であれば今頃は東京五輪・パラリンピックが開催されてトップアスリートの競演に世界中が歓喜と熱狂に包まれて盛り上がっていたはずでした。来年に延期された東京五輪・パラリンピックですが、新型コロナウイルス感染拡大の影響によって既に開催を危ぶむ声が高まっています。私達は、あらためて長期戦・持久戦の覚悟を持って新型コロナウイルスに対して向き合っていく必要があります。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

## ポストコロナ時代を先取りしてセクターや業種で2極化が進む

先月の世界のマーケットは、感染第二波を懸念する中で金融緩和による過剰流動性が下支えする中、米中の経済指標の好転による景気回復期待のさらなる高まりやEU復興基金合意に対する期待から株式市場はおおむね上昇を続けました。企業の4-6月期の決算内容は、コロナの影響を大きく受けたセクターとコロナ禍による外出自粛、単簿り消費、オンライン・リモート社会の恩恵を受けるセクターで明暗が分かれ、業種や企業の選別が進みました。

テクノロジー等のグロース銘柄が市場を牽引する形で欧米や新興国の株式市場は上昇し、特に新興国市場が大きく上昇するとともに、米国ではナスダックが史上最高値を更新いたしました。日本株式市場は一部の成長銘柄や中小型株が上昇しましたが、新型コロナウイルスの新規感染者数増加による景気回復の遅れを懸念して下落いたしました。

一方で、NY金先物価格は世界経済の先行き不透明感から買われて大きく上昇いたしました。そのような中で、ありがとうファンドは+4.7%の上昇となりました。基準価額2万円台を回復し、世界株+3.8%の上昇、TOPIX配当込み-4%の下落をアウトパフォームいたしました。



マーケットでは各国政府・中央銀行による金融緩和マネーが株式市場を下支えしている中、半年先、一年先の業績回復を見込んで3月の底値から株価が急回復してきましたが、各国の4—6月期のGDPはロックダウンや緊急事態宣言で経済活動を止めていた影響で数十%のマイナスで過去最大の落ち込みとなり、予想通り非常に厳しいものが発表されました。実体経済との乖離が広がる中でポストコロナ時代に伸びるセクターと衰退するセクターで企業の選別が行われて銘柄間格差が広がり、二極化が進んできています。今後の感染状況や景気動向によってマーケットは乱高下する可能性は高く、引き続きダウンサイドリスクを警戒する相場動向が予想されます。

また、今後のリスク要因としては、11月の米国大統領選挙や米中通商問題の動向などがありますが、国内景気の先行きについては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が収束しない限り、輸出やインバウンドの本格的な回復はすぐには望めず、失業率や有効求人倍率など雇用環境も悪化していくと思われれます。現状では、国内消費もV字回復は想定できず、新型コロナウイルスの感染状況次第では低迷・下振れするリスクもあると考えられます。



このような中で、短期的な相場動向や景気動向を予想してタイミングを見て機動的に高く売って安く買い戻したり、一旦利益確定をしておこうとする人もいるかもしれませんが簡単ではありませんし、仮に一度上手くいったとしても長期的に継続していくことは難しいでしょう。また、課税の繰り延べ効果と長期的な運用成果・複利効果の観点からも、そのような投資行動はあまりおすすめできません。価格を見ての短期トレードで長期的に継続してアウトパフォームすることはプロでも難しいことは過去の実績から明らかです。同じファンドを頻繁に何度も売買することによる取引コストと課税のために、長期で見れば何もせずただファンドを保有しているだけの方がパフォーマンスが良くなるのが少なくありません。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

足元、世界経済は新型コロナウイルスの影響で大きくマイナス成長になりますが、中長期的には人口増加等による消費・生産の拡大により成長していくと予想されていますので、世界に幅広く国際分散して長期投資することによって世界経済の成長及び企業利益の成長のリターン之恩恵を享受することが期待できると考えられます。

短期的なマーケット動向に一喜一憂することなく長期・積立・国際分散投資でバイ・アンド・ホールドして資産運用を継続していくことが大切で、後から振り返って見た時に、皆さまの資産運用のゴールへの近道であったと実感することがきっとできるでしょう。

資産運用で大切なことは、お客さま一人一人がご自身の目標を見失わないことです。現在のコロナ禍で先行きが不安な状況ですが、将来に向けた資産運用の目標が大きく変わるわけではありません。新型コロナウイルス感染拡大がいつ収束するかはわかりませんが、いずれ必ず収束するときが来るでしょう。



弊社では、お客様が資産運用で迷われてゴールを見失うことのないようにしっかりとサポートさせていただければと考えておりますので、ご不安ご心配なことがございましたら、お気軽にご相談いただければ幸いです。尚、個別相談につきましては、お電話やメール、来社対面以外にWEBオンライン相談対応もできるように現在準備を進めているところです。

詳細につきましては準備出来次第ホームページにてご案内させていただきます。

## 国際分散投資で持続的に成長していける企業に厳選投資

弊社では引き続き国際分散投資の運用戦略のもと、景気動向に大きく左右されない、コロナ禍でも今後のメガトレンドに乗って持続的に利益成長していける強固なビジネスモデルを持ったクオリティの高い企業に厳選投資するとともに、リスクオフ局面や低金利時に相対的に価値を増す金(ゴールド)ETFにも一部投資することによってリスクを抑えながら安定したパフォーマンスを目指して参ります。

厳選された投資先銘柄については、毎月「[ありがとうブログ](#)」の中でファンドマネージャーが紹介しておりますのでご興味ありましたら是非ご覧いただければ幸いです。先月は「[Itron\(米国\)](#)」を取り上げています。

また、[金\(ゴールド\)投資](#)についても、以前の[月次レポート\(2017年10月\)](#)の中で取り上げておりますのでご覧いただければ幸いです。

新型コロナウイルスとの長期戦・持久戦を皆さまと乗り越えていけるように役職員一同、精進して参りますので、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



## 🌸 積立投資のススメ!

長期投資には、コツコツと分散しながら長期に渡って購入する「定期積立サービス」がおすすめです♪

「定期積立サービス」とは…毎月決まった日にお客様が決めた金額を、自動で購入してお客様の資産をコツコツ積み立てていくやり方です。引落とし手数料も無料♪お忙しい方にもおすすめの投資方法です。



### ①『無理なく続けられる』

お手元にまとまった資金がなくても、毎月少しずつ積み立てることで大きな資産へとつながっていきます。貯金感覚で続けていきながら、複利効果でリターンチャンスとなります。



### ②『リスクを分散』

定額での購入で基準価額が高い時に少なく、安い時に多く投資することができます(ドル・コスト平均法)。相場がいい時もよい時も投資を続けることで、平均買付単価を低く抑える方法です。

### ③『時間分散』

タイミングを分けることで、リスクを分散することができます。時間を味方につけることで、長期でじっくり投資を続けることができます。

期間	平均取得単価	損益
1年	18,271円	+9.77%
3年	18,280円	+9.71%
5年	17,093円	+17.33%
10年	12,827円	+56.35%
初回(2004年10月)から	11,660円	+72.00%

右の表は過去の実績として、ありがとうファンドを10,000円ずつ1年、3年、5年、10年と定期で積み立てた場合の実際の平均取得単価と損益となります。続けていくほど利益がでているのがわかるかと思います。

2020年7月31日現在(基準価額: 20,056円)

投資信託をいつ買えばよいか?とのお客様の声が多いですが、投資信託は、タイミングではなく、時間での分散が効果的です。長期で常にタイミングを計ることはとても難しく、かなりの労力を必要とし、それでも確実にいいタイミングで買える保証はありません。

それよりも、ゆっくりと長い時間をかけて、コツコツ投資していくほうがはるかに続けやすく買付単価を平均化されることで、分散の効果が得られます。



タイミングを見計らうのではなく、時間を味方につけていきましょう!

※上記表は毎月同一金額を継続して積立した場合の平均取得単価となります。  
 ※積立による購入は将来の収益を保証、基準価額下落時における損失を防止するものではありません。  
 ※計算過程で出る端数の処理等、損益比率計算過程において簡略化した計算式を用いています。

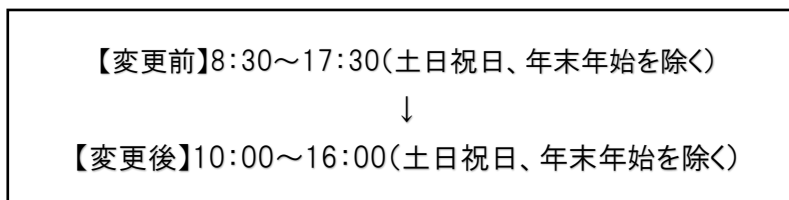
## 🌸 セミナーのお知らせ

新型コロナウイルスの感染拡大が続いている状況などを鑑みて、お客さまの安全を最優先して当面の間、セミナーの開催を中止させていただきます。何卒ご理解、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

## 🌸 お電話フリーコール受付時間変更のお知らせ

弊社では、2020年4月6日(月)より新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、弊社では役職員の時差通勤、在宅勤務を取り入れております。

つきましては、新型コロナウイルス感染拡大が収束するまでの当面の間、お電話フリーコール受付時間を10:00～16:00(土日祝日、年末年始を除く)までに変更させていただきます。尚、電話受付時間以外については変更なく通常通り営業いたします。また、インターネットからの資料請求・お問合せ、マイページサービスについては24時間365日ご利用いただけます。何卒ご理解、ご協力賜りますようお願い申し上げます。



## 🌸 ありがとうブログの更新のお知らせ

ありがとうブログでは資産運用に役立つ情報など定期的にご紹介しております。[\(https://www.39asset.co.jp/blog/\)](https://www.39asset.co.jp/blog/) 随時更新しておりますので是非ご覧いただければ幸いです♪

### 【FP・資産形成】

### 【ありがとうトピックス】

### 【39クッキング】



## 毎月定期購入サービスのスケジュール

今後のスケジュールになります。各締切日に間に合わない場合、翌月の取扱いとなりますのでご了承ください。

	【新規で定期購入を申込】 【引落し口座変更】	【定期の引落し金額を変更】 【定期引落しを中止】	【引落日】	【買付申込日】	【約定日】 (ファンドの購入日)
2020年 8月分	受付終了	受付終了	8月6日(木)	8月17日(月)	8月19日(水)
2020年 9月分	受付終了	8月26日(水)	9月7日(月)	9月15日(火)	9月17日(木)
2020年 10月分	9月3日(木)	9月24日(木)	10月6日(火)	10月14日(水)	10月16日(金)
2020年 11月分	10月5日(月)	10月26日(月)	11月6日(金)	11月16日(月)	11月18日(水)

## ありがとうファンド売買申込不可日のお知らせ

下記の売買申込不可日にお申込みされた場合、自動的に翌営業日以降の受付となりますのでご注意ください。

8月	-	-	-
9月	7日(月)	労働者の日	ニューヨーク証券取引所休業日
10月	-	-	-



## ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.99%(税抜 0.9%) 以内の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.60%±0.2%(概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	ファンドに組入れる有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料(消費税を含む)及び税金等の費用は信託財産から支払われます。また、その他、信託事務の処理に要する諸費用、監査費用、受託会社の立替えた立替金の利息等についても、信託財産の毎月末加重平均残高が 120 億円以上の場合には、諸経費のうち 100 万円(税抜き)までは信託財産から支払われます。※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信株式会社 カスタマーサービス部まで。【〒101-0047 東京都千代田区千代田 2-15-9 フリーコール 0800-888-3900】

【レポートで使用している指数の注記】 騰落率は、FACTSETよりデータを参照し、弊社にて計算しております。

TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。S&P500種指数(S&P500)に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属します。MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI に帰属します。

### ■R&I ファンド大賞について

R&I「ファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。